

## **スクエアfreeセミナー第43回**

# **基幹業務Webアプリケーションをスマホ化**

**業務システムのUIを、スマホ向けに変換**

**株式会社エムティーアイ  
ソリューション事業部 営業部  
2014年5月22日**

# 自己紹介

氏名

**野沢 英司（のざわ えいじ）**

株式会社エムティーアイでの略歴

## BtoC事業

- ✓ ITセンター： 自社サービスシステム開発
- ✓ music.jp事業本部： 音楽サービスシステム開発
- ✓ MS事業本部： 生活情報サービスシステム開発

## BtoB事業

- ✓ ソリューション事業部： 自社プロダクトの
- ✓ 企業向けソリューション提供

# 会社概要

## モバイルサービスを造り続けるリーディングカンパニー

商号	株式会社エムティーアイ(JASDAQ上場:9438)	
所在地	〒163-1435 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー35F	
TEL	03-5333-6789	
設立	1996年8月12日	
資本金	2,562百万円(2013年12月31日現在)	
売上高	30,160百万円(2013年9月期)	
従業員数	761名(2013年12月31日現在)	
主要取引先	(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)	
事業内容	コンテンツ配信事業	music.jp®、ルナルナほか
	リアルアフィリエイト事業	リアルアフィリエイトネットワークピットスルー
	BtoBソリューション事業	スマートフォン変換「モバイルコンバート」他

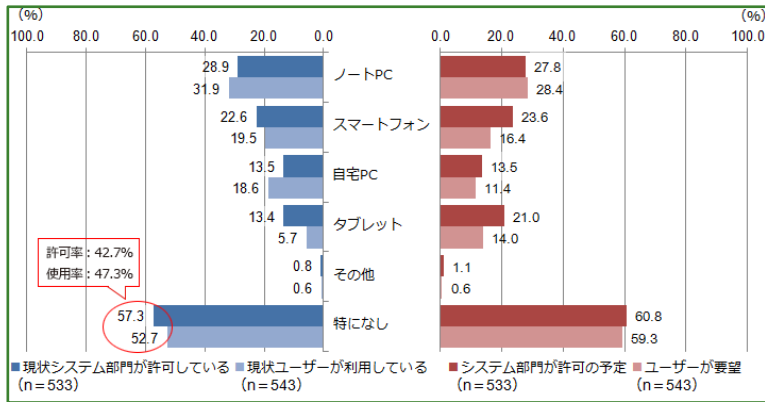


モバイル端末の利用シーン拡大への対応!!

# BYODの現状と将来対応

## BYOD(Bring Your Own Device)

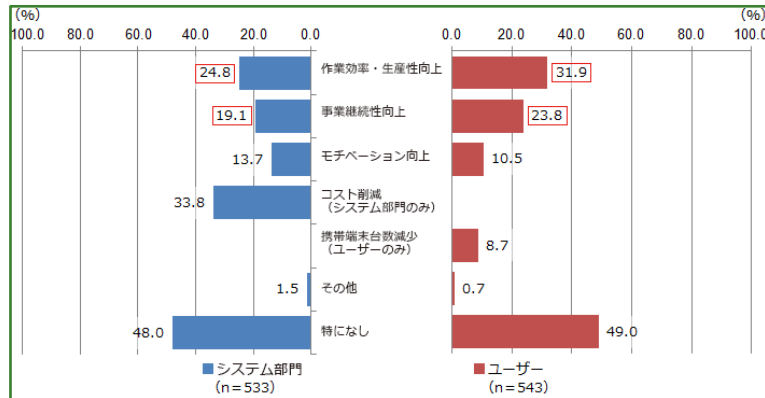
### BYODに用いられているデバイスの現状と今後の予定



BYODとして何らかのデバイスの使用を許可している組織は約**43%**、実際に何らかのデバイスを利用しているユーザーは約**47%**に上る。

ノートPC、自宅PCといった資料作成に優れたデバイスは、システム部門の許可率以上にユーザーが利用している。一方、スマートフォン、タブレットといった携帯性に優れたデバイスは、システム部門の許可率ほどユーザーは利用していない。

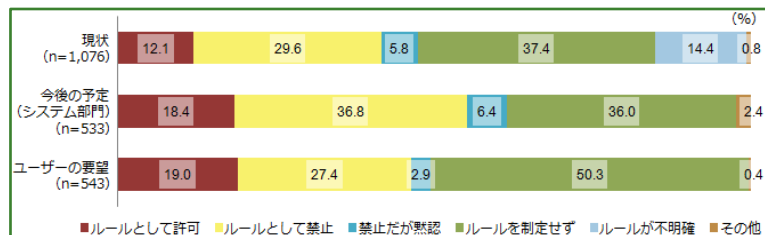
### BYODにおいて感じるメリット



ユーザーは**生産性向上**、システム部門は**コスト削減**をメリットとして感じている。

ユーザーは今後、現状以上にBYODを「**ルールとして許可**」することを望む比率が増加傾向にある一方、「**ルールとして禁止**」を望む比率は減少傾向にある。

### BYODのルール制定状況と今後の予定



**最適化されたアプリケーションと万全のセキュリティ対策でBYODを加速する絶好のチャンス!**

# BYODを加速させるソリューション

## エムティーアイの事業



会員800万人以上  
音楽・ヘルスケア・電子書籍  
・生活情報・エンタメ・占い

自社プロダクト開発



安心の実績

## 顧客価値の最大化



ユーザエクスペリエンス



業務システムへの適用

BtoC



BtoB

## 顧客業務システム

スマホ・タブレット



BYOD



低リスク

低コスト

最適化



既存システム

# BYODを加速させるソリューション

## エムティーアイの事業

## 顧客業務システム

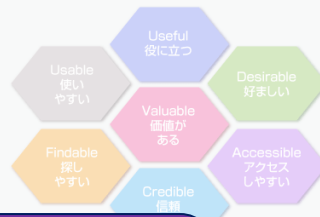


会員800万人以上

音楽・ヘルスケア・電子書籍  
・生活情報・エンタメ・占い

自社プロダクト開発

### 顧客価値の最大化



モバイルコンバート  
安心の実績とは？

ユーザーエンゲージメント



安心の実績



業務システムへの適用

BtoC



BtoB

スマホ・タブレット



BYOD



低リスク

低コスト

最適化



既存システム

# モバイルコンバート安心の実績① 製品実績

ASP版で長年に渡ってモバイル変換サービスを実施してきた実績

第一世代

マルチキャリア向け携帯サイトコンテンツ自動変換サービス

1999年  
リリース

MOBILE CONVERT

携帯  
サイト



携帯  
サイト



第二世代

スマートフォン向け携帯サイト自動変換サービス

2010年5月  
リリース

MOBILE CONVERT  
for スマートフォン

携帯  
サイト



スマホ  
サイト



iPhone



Android

第三世代

スマートフォン向けPCサイトテンプレート変換サービス

2012年10月  
リリース

MOBILE CONVERT  
+ PLUS

PC  
サイト



スマホ  
サイト



iPhone



Android

モバイル変換エンジンをライセンスとして販売開始

2014年1月  
リリース

MOBILE CONVERT  
ENTERPRISE

PC  
サイト



PC  
サイト



スマホ  
サイト



iPhone

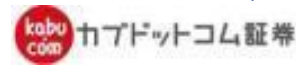


Android

# モバイルコンバート安心の実績② 導入実績

## 150社 250サイトの構築と運用実績

### 金融機関



ほか

### 通販EC企業



ほか

### その他大手企業



ほか



# モバイルコンバート安心の実績④ 自社サービス実績

## 当社最大会員数を持つ音楽サービスで運用中



### PCサイト

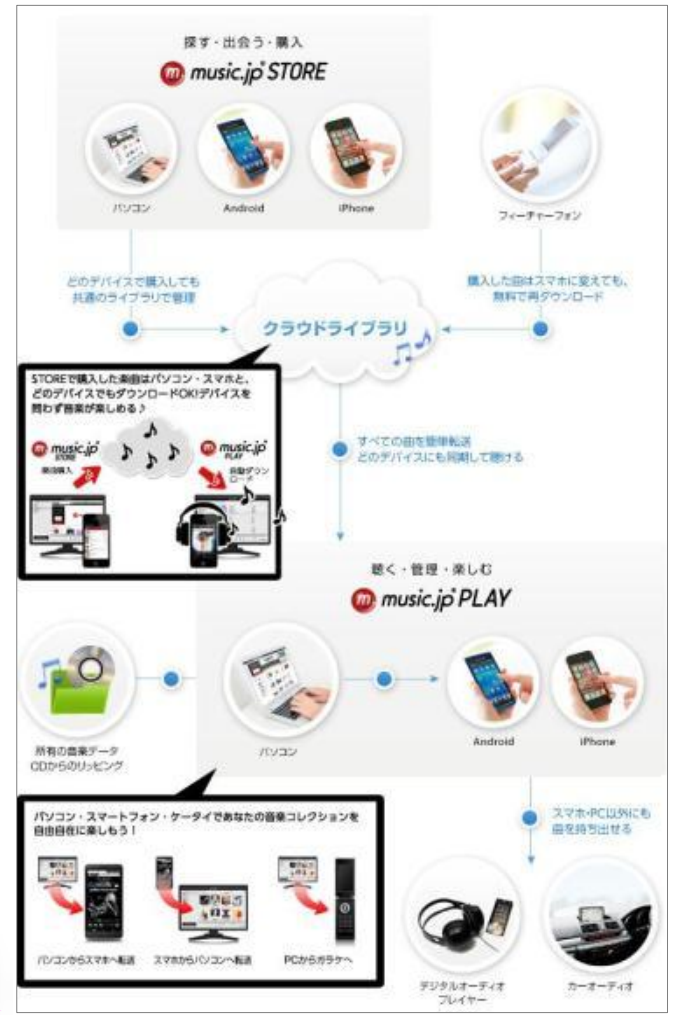


### WEB対応

新規ユーザー向け  
music.jpSTORE

### アプリ対応

会員向け  
music.jpPLAY



# BYODを加速させるソリューション

## エムティーアイの事業



会員800万人以上  
音楽・ヘルスケア・電子書籍  
・生活情報・エンタメ・占い

自社プロダクト開発



安心の実績

BtoC



BtoB

## 顧客価値の最大化



モバイルコンバート  
特徴は？



業務システムへの適用

## 顧客業務システム

スマホ・タブレット



BYOD

低リスク

低コスト

最適化



既存システム

# モバイルコンバートの特徴

## ご好評いただいている4つの特徴

### ①基幹システムはノータッチ！ 導入しやすいアーキテクチャー

- ★基幹システム(DBや決済システムなど)の開発や改修は不要！
- ★開発工数を大幅節約、スピーディー＆ローコストでの構築が可能！

### ②ワンソースマルチデバイス 運用を実現！

- ★PCサイトを更新すれば、スマホサイトもリアルタイムで自動更新！
- ★タブレットへの最適化は勿論、レガシーシステムの最新ブラウザ・OS変換も可能

### ③プロキシタイプのシンプルで 導入しやすいシステム構成

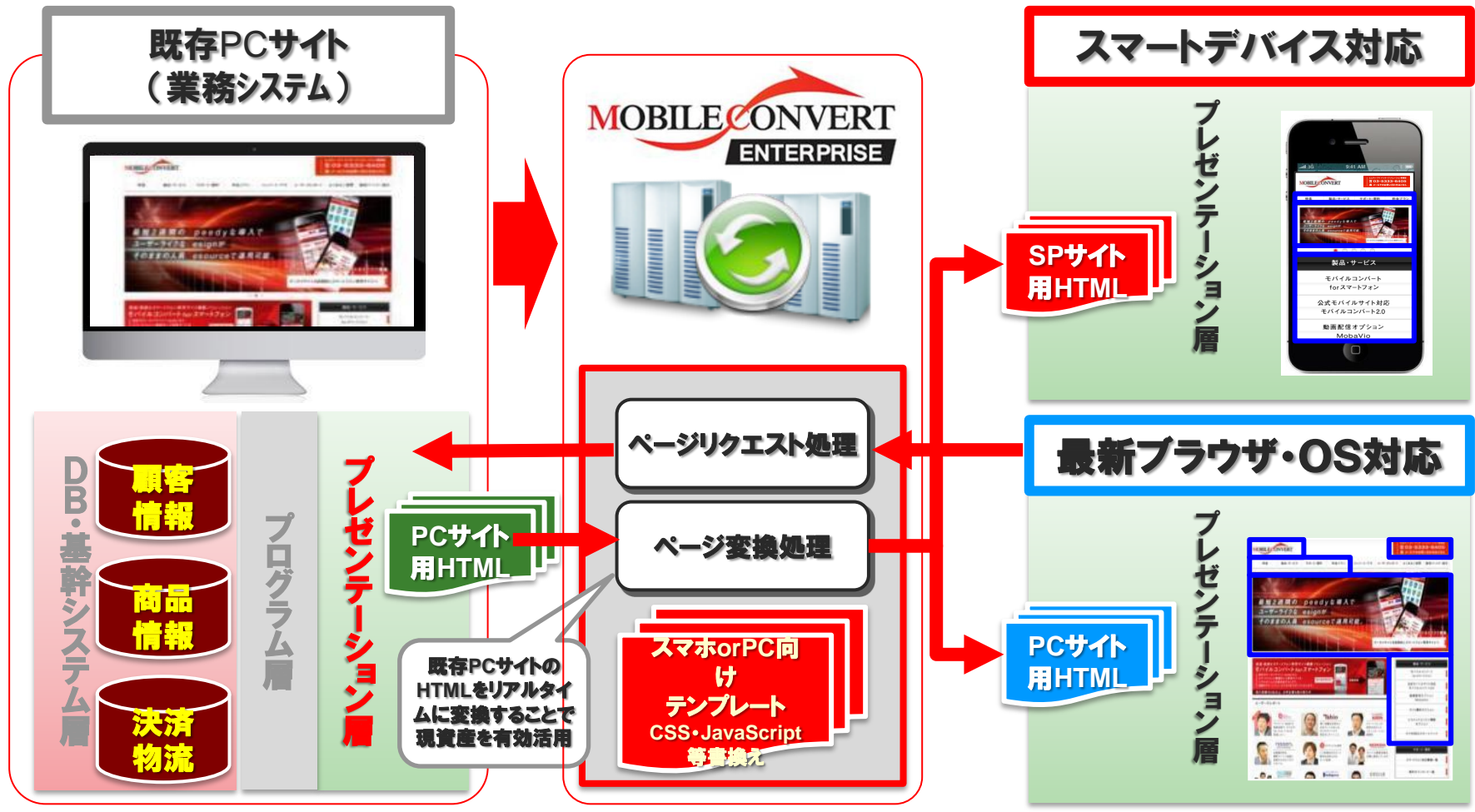
- ★プロキシとして動作するため、クライアント様の用途に応じた構築可能！
- ★各種ビジネスモデルに応じたご提供方法も可能です！お気軽にご相談ください

### ④結集されたエムティーアイの モバイルサービスノウハウ！

- ★スマホの新機種対応はエムティーアイが100%保証！（タブレットは要相談）
- ★ノウハウが結集したスマホ・タブレット向けの、UIライブラリをご提供！

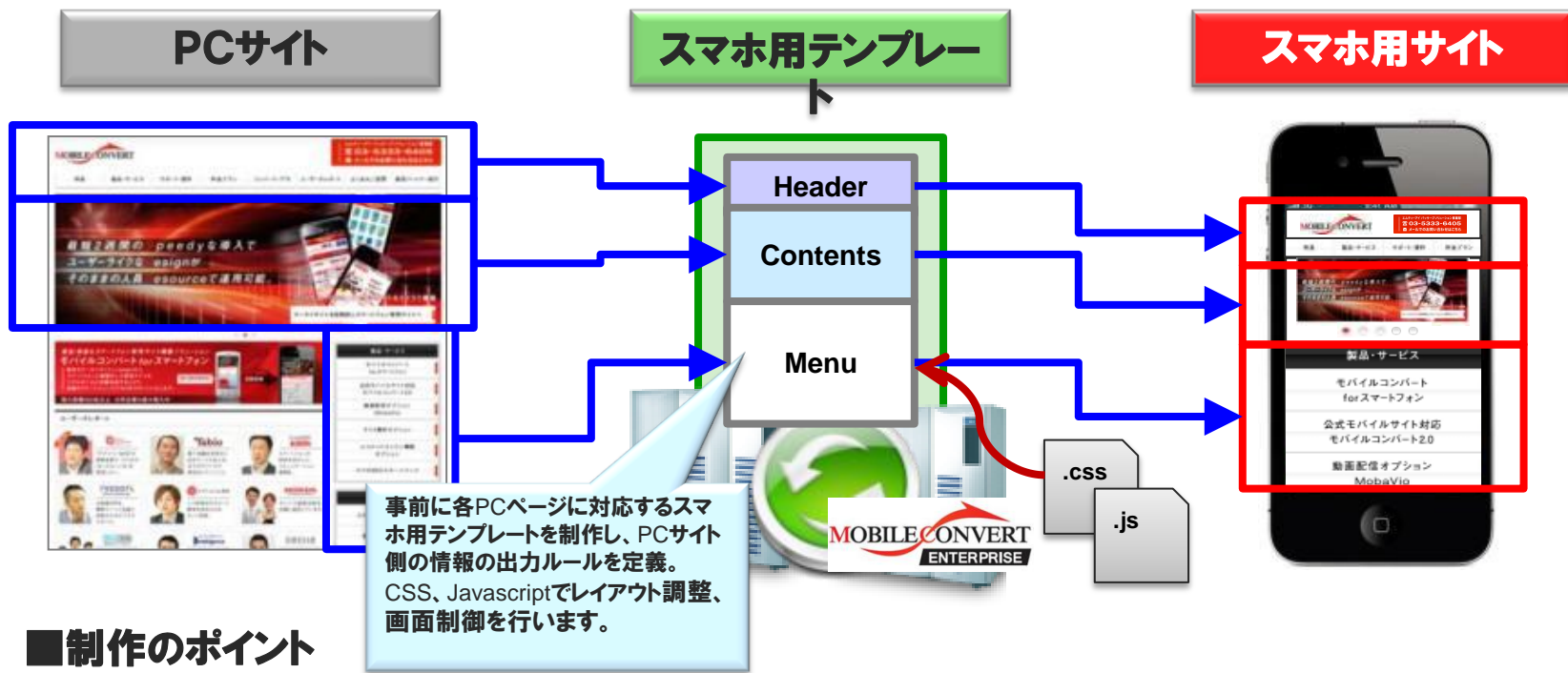
# モバイルコンバートの特徴① 基幹システムノータッチ

## 既存のシステムに手を加えないアーキテクチャー



# モバイルコンバートの特徴② ワンソースマルチデバイス

サイトのメンテナンスはPCサイトのみでOK。スマホは自動変換。



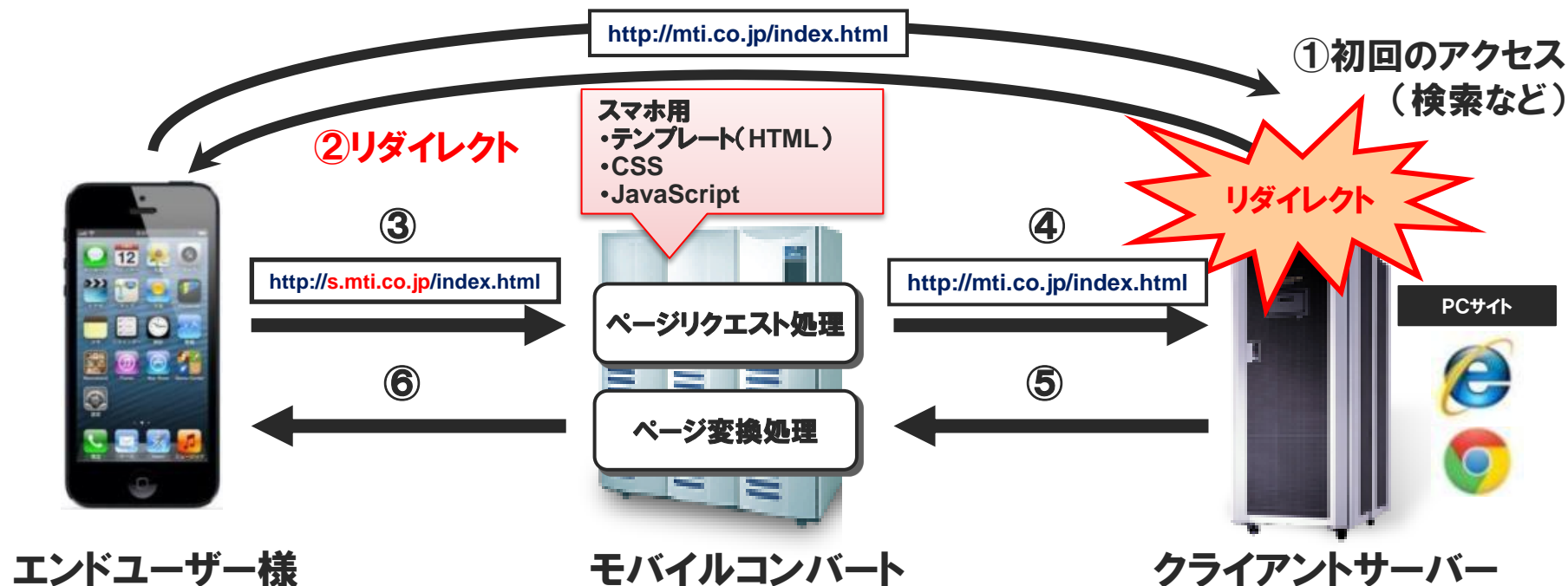
## ■制作のポイント

- PCページ毎に対応するスマホ用テンプレートを制作します。
- 同じレイアウトのページ (HTML構成) であれば、共通のテンプレートを使用します。
- PC側が更新された場合、スマートフォンにはその内容が反映されます。
- テンプレートの定義に沿わない変更がPCページ側であった場合には、テンプレートの修正作業が発生します。
- Flash・ActiveX・VBScript・Javaアプレットの技術を含む場合は、事前に確認が必要になります。



# モバイルコンバートの特徴③ シンプル構成

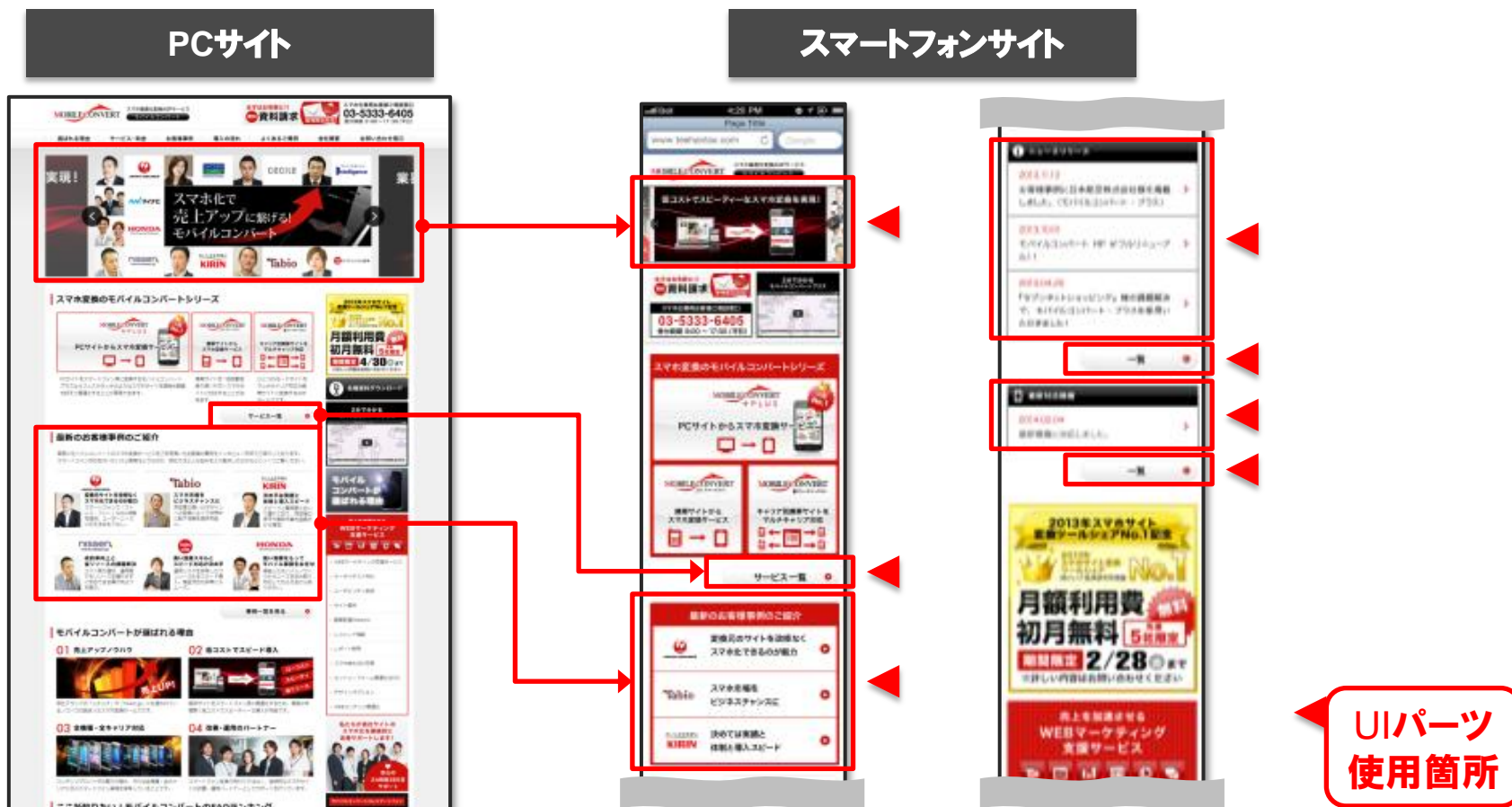
## シンプルで自由度の高いシステム構成



- ・エンドユーザーからの初めてのアクセス(“検索”からのアクセス等)は、モバイルコンバートサーバを経由しないため、下記のように「**リダイレクト処理**」により、モバイルコンバートを經由させることが必要となります。
- ・このため、御社サーバー側で「**リダイレクト設定**」を行っていただく必要があります。  
ご発注後に、弊社から、**リダイレクトのサンプルソースを提供します**ので、それを設定いただくと簡単です。

# モバイルコンバートの特徴④ MTIのノウハウ

## 自社サービスで培ってきたUIデザインをパーツ



※UIパーツライブラリを適用できないコンテンツは個別デザイン作成での対応となります。

# BYODを加速させるソリューション

## エムティーアイの事業

## 顧客業務システム



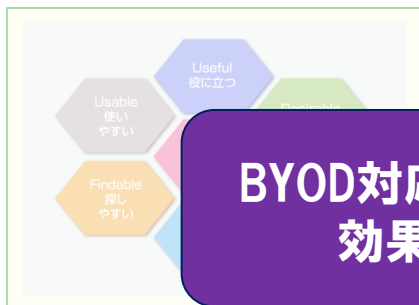
会員800万人以上  
音楽・ヘルスケア・電子書籍  
・生活情報・エンタメ・占い

自社プロダクト開発



安心の実績

### 顧客価値の最大化



ユーザエクスペリエンス

BYOD対応における  
効果は？

### スマホ・タブレット



BYOD



低リスク

低コスト

最適化



既存システム

BtoC

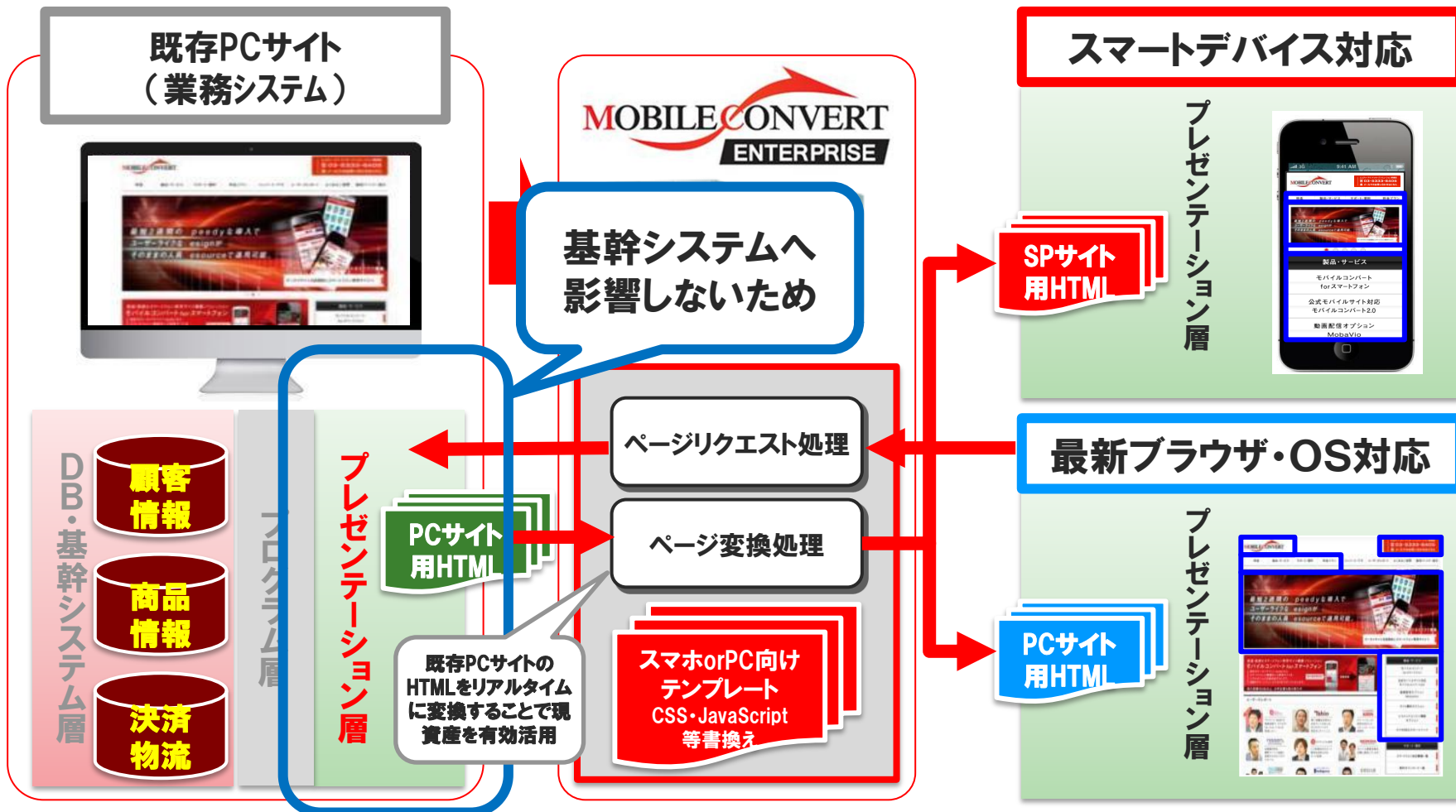


BtoB



# BYODに対する効果① 低リスク対応

■マルチデバイスへの変換や、IE6やWinXPなどレガシーなブラウザ・OSの業務システムを、最新のブラウザ・OSへ変換することも可能。



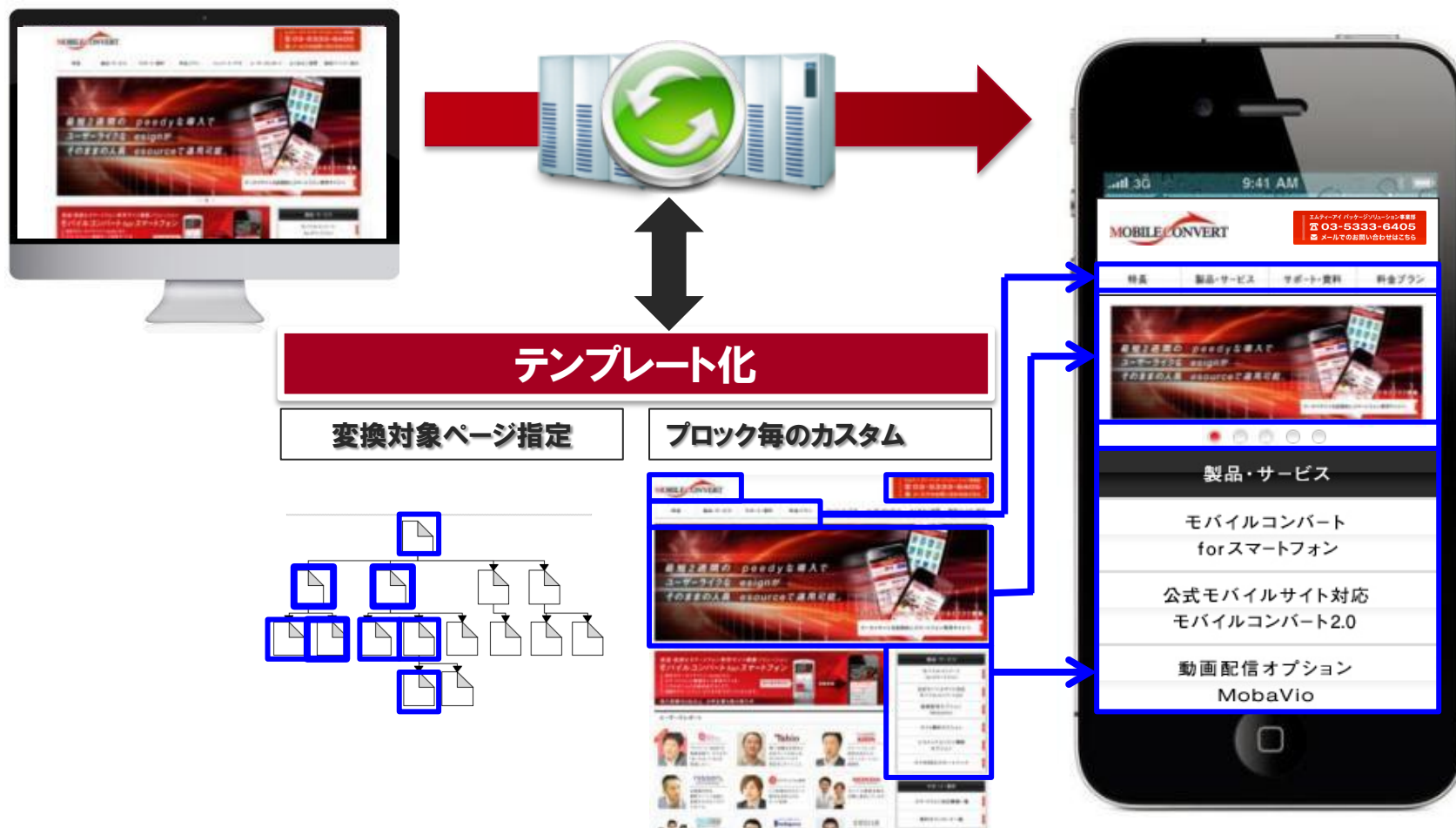
# BYODに対する効果② 低コスト・短納期

## モバイルコンバートを使った場合のコスト比較

工程	スクラッチ開発	モバイルコンバート	モバイルコンバートを使うメリット
プロジェクト設計 情報設計/構造設計	40人日	—	● PCサイトが存在し、基板システムはあるので不要工程となります。
環境構築/要件定義	—	20人日	● 上記工程が「環境構築」と「要件定義」の工程のみに短縮されます。
UI設計	20人日	20人日	
開発(実装)	150人日 (3人で2.5ヵ月)	60人日 (3人で1ヵ月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員登録や購入、商品情報といったデータベースとのつなぎ込みなどの基板システムの開発が不要となり、大幅に工数が削減できます。</li> <li>● 基板システムの開発が不要なので、アサインする人材もシステムエンジニアのような上級プログラマーではなく、初級プログラマーで対応できます。</li> </ul>
テスト(実機検証)	30人日	20人日	● PCサイトの基板システムがあるので、システムテストの工程が不要となり、工数が削減できます。
PM (プロジェクトマネージャー)	50人日	25人日	● 全体の工期が削減されますので、その分管理工数も大幅に削減されます。
<b>合計</b>	<b>290人日</b>	<b>145人日</b>	

# BYODに対する効果③ 業務最適化

## モバイル化する業務をページ単位で選択



**ご清聴ありがとうございました**